

議会報告会(平成26年4月22日開催)での議会に関するご質問・ご意見への回答

質問・意見等	回 答
<p>使い切れなかった政務活動費はどうなるのか。</p>	<p>政務活動費は、議員一人当たり年額25万円が交付されていて、調査研究のための旅費や図書購入費、また研修会や市民への広報・広聴活動を行うための経費などに使用されています。 使用されなかった残額については返還しています。 具体的な使用状況につきましては、議会ホームページにて公開しています。</p> <p>⇒【参考】政務活動費(政務調査費)の報告 (※平成25年度に名称が政務調査費から政務活動費に変わりました) (http://www.city.matsumoto.nagano.jp/sigikai/kokaijoho/seimuchousa/index.html)</p>
<p>ステップアップ市民会議の取り組みについて現在はどうのような状況か。</p>	<p>ステップアップ市民会議は、議会の運営等に関する市民からの意見等を的確に把握し、可能なものは反映させていくことで、市議会への市民参加の推進と、開かれた市議会の実現を図ることを目的としており、平成22年度から、2期3年度にわたって開催してきました。昨年度は、会議の進め方や委員の選定方法など、これまでの活動の中で浮かんできた課題を踏まえ、今後のあり方、方向性を検討してまいりました。 より良い形で市民参加の推進が図れるように、本年度も引き続き検討を続けてまいります。</p> <p>⇒【参考】松本市議会ステップアップ市民会議のこれまでの取り組み (http://www.city.matsumoto.nagano.jp/sigikai/kihonjyorei/sutepup_shimin/index.html)</p>

質問・意見等	回 答
<p>合併により市域が大きく広がったことを考えると、一人当たりの議員報酬を減らして議員定数をふやすべきではないか。いろいろな立場を代表した大勢の議員による議論が必要ではないか。</p>	<p>議員定数については、議員間でのさまざまな検討を経て、平成22年に現在の31人という議員定数に見直しをしました。減員した分、当然議員一人ひとりが背負っている責務は、以前よりも更に大きく重いものになっていますが、今の定数でも、議会活動がより充実するように各議員取り組んできています。現在のところ、議会内では定数を変更することについては議論されておられません。</p> <p>⇒ 【参考】 議員定数の状況</p> <p>(http://www.city.matsumoto.nagano.jp/sigikai/gikaiunei/giinnteisuu.html)</p>
<p>もっと議員一人一人がどのように考えているのか、本音が聞きたい。</p>	<p>議会報告会は、それぞれの議員が個人としての考えをお伝えするための場ではなく、松本市議会全体としての活動を、市民の皆様にご覧いただくことを目的に実施しています。そのため、参加者の皆さんからいただいた質問や意見にも、基本的に議員は個人の主観的な考えを述べるのではなく、松本市議会全体を代表する立場でお答えしております。しかし、参加された方からは、議員個人の考えを聞きたいとの声をいただくこともあります。平成22年度から順次各地区で開催してまいりました議会報告会ですが、本年度内に、市内全地区を一周することとなりますので、これまでいただいた感想、意見をもとに、議員個人に求められた質問への回答の仕方も含め、議会報告会のあり方を改めて見直し、どんな形で続けていくのかを検討してまいりたいと考えてます。</p>

質問・意見等	回 答
<p>もっと議員は勉強して、市の提案を詳細に検討してもらいたい。議会を傍聴しても物足りなさを感じる。</p> <p>議会から提出される議案が少ない。</p> <p>もっと市民の目線に立ってしっかりと審査してほしい。</p>	<p>議会に対する市民の皆様の期待にしっかりと応えられるよう、議員一人ひとりが更なる熱意をもって議案審査、政策立案・政策提言に取り組んでまいります。</p>